

大阪市立大学理学部同窓会・大阪公立大学理学部同窓会 総会 議事録

作成者 筒井良樹 作成日 10月20日

日時 : 2023年9月30日(土) 15時~17時

場所 : 田中記念館3階 同窓会交流室

出席者 : 役員 畑徹 三田村宗樹 佐藤和信 野口悟 児玉隆夫 小松晃雄 栗本史雄 仲岡靖純 久好圭治 役員合計9名 他3名 磯江幸彦 徳山孝 筒井良樹 合計12名が出席した。

1. 開会の辞、2. 会長挨拶

畑会長より昨年度に続きコロナの影響も少なくなり対面で総会を実施できました。来年度以降は人数を増やして総会を実施したいという開会の挨拶を頂いた。

3. 2022年度事業報告 4. 2023年度事業計画

2022年度総会開催

同窓会総会を11月3日(土)に実施し2021年度活動報告と2022年度事業案を承認し2021年度会計報告と2022年度の予算案について承認した。

新入学、新入生への加入案内

昨年度と同様に入学手続き書類に同封(府大方式(全学+学部一括して)学長からの依頼文と共に理学部同窓会への加入のお願いをした。結果、新入学生の加入率が6割より8割に向上したので、来年度以降もこの方法を継続して行いたい。

ボート祭への援助

2022年度もコロナの影響で中止になったが、2023年度以降は大阪公立大学になりボート部の活動に対しての支出は理学部ではなく公友会からの支出で良いのではという意見があり、今後検討して行きたい。

同窓会活動活性化に向けての事業について(5人当たり1万円の補助)

・2022年11月5日 昭和41年卒物理学科卒業生(7名)の懇親会に補助を行った。
また、今後も同窓会の活性化に向けて今事業を継続していきたい。

理学研究科・理学部への援助

2022年度大学院成績優秀者への褒賞として（大学より1名）+理学部同窓会より2名分の褒賞を贈った。また、2023年3月に理学研究院人事戦略委員会の懇親会費用及び2023年4月地球学科、物理学科、数学科の3学科に新入生歓迎会の費用として援助を行った。

寺北理学研究科長からの支援依頼

昨年八月に畑会長よりに寺北理学研究科長への申し入れを行い、研究科長より支援に関する要望書が提出された。最初に畑会長より必要な予算について概略の説明を受け今総会で検討した結果、学生の為になるのであればぜひ実施すべきではとの意見が出されたので2023年度以降、支援を開始する予定である。

大阪市立大学史編集及び理学部史(冊子)編集への援助:

大学からの寄付依頼への協力として100万円(予定)しているが、2022年度は予算を執行せず、2023年度は大学史編集の進行具合により支出予定である。また、理学部史(冊子)編集に関しても支援を予定している。

全学同窓会報への援助

2023年度も有恒会(商経法文同窓会)が発行する雑誌「有恒」の支援を実施していく予定である。援助金を何時まで継続するかは今後議論すべきだとの意見もあった。また、理学部同窓会としては行事等の案内、理学研究科の案内等はメール及びホームページで代替える予定である。案内等の告知方法を今後検討すべきであるとの意見が出された。

「三木茂ドキュメンタリードラマ」クラウドファンディングへのご協力依頼

故三木茂教授は市立大学理学部に大きな貢献をした先生でもあるので、本総会で検討した結果、ぜひ市立大学理学部同窓会として支援すべきとの意見がありクラウドファンディングへの支出を決定した。

5.2022年度の会計報告 6.2023年度予算計画

三田村先生より会計報告の説明後、佐藤先生より会計監査の報告を受け問題が無いことを確認して承認を行った。予算案についても、説明を受けて承認された。なお、2023年度～2024年度大阪市立大学理学部と大阪公立大学理学部の会計枠を按分割合し維持することが説明された。

7.大阪市立大学理学部同窓会・大阪公立大学理学部同窓会 会則について

畑会長より、今後問題点があれば会則の変更もあると説明があった。今総会では現会則に対して問題点等の意見は出なかった。

8.2023年度役員構成

副会長の後任を探す必要があるが本総会では選出されず、今後案を考えている。また、相談役（理学部）担当を三木久巳（前会長）より小松晃雄（旧学友会会長）へ変更する件が承認された。また今総会の書記をしている筒井良樹（2009年物質科）を幹事になることも了承された。今後も、同窓会を維持運営するために、役員の更新が必要であると考えている。そのため若い役員候補者のへの声掛けを行っていくことも議論として出された。

9.大阪市立大学理学部設立の経緯について

大阪市立大学理学部同窓生より、本総会において理学部設立の経緯が間違えて、様々な媒体（Wikipedia,大阪公立大学理学部ホームページ）に掲載されていると問題提起があり、本総会で検討した結果、理学研究科長に大阪公立大学理学部ホームページに関しては内容変更の申し入れをすることを本総会で決めた。